

9.当院の頭部 CT 画像の提出について

鶴岡協立病院 放射線科 阿部和志

【背景・目的】

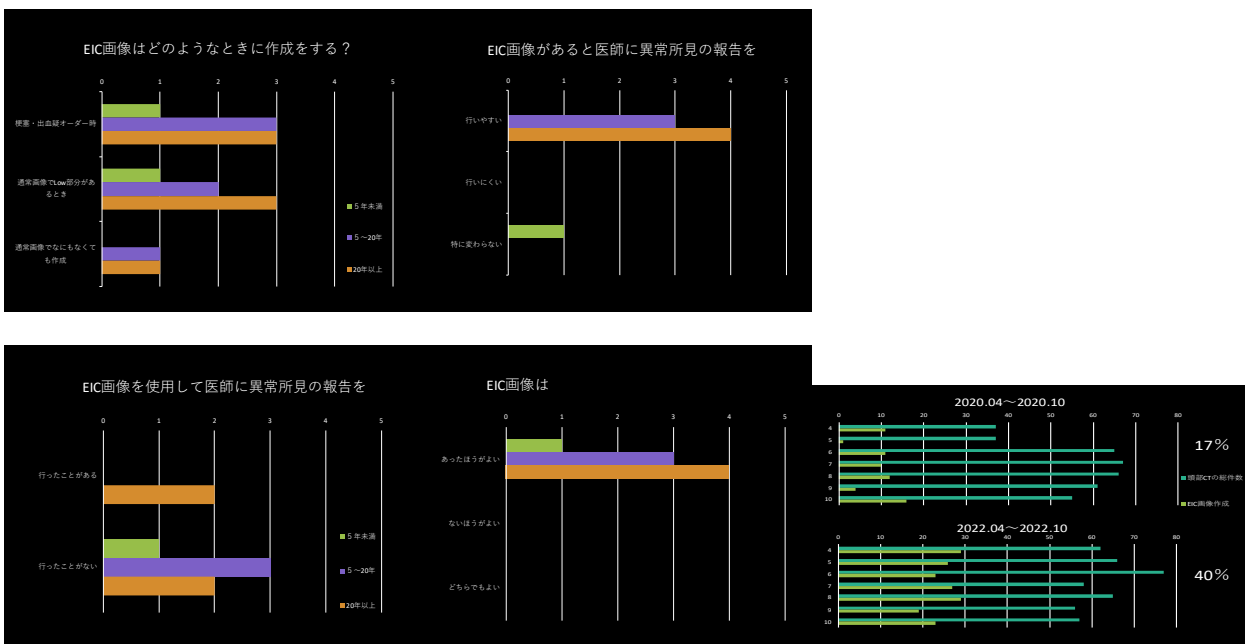
当院の頭部 CT 検査では早期虚血性変化 early ischemic change : EIC を強調する画像を作成し、通常ウィンドウ条件の画像と比較できるように提出している。EIC 画像を作成・評価することによってどのような変化があったか？報告をする。

【方法】

当院の診療放射線技師に対して EIC 画像についてのアンケートを実施。

取り組み始めた年 2020 年 04～10 月と 2022 年の同一期間における EIC 画像の作成率を比較。

【結果】



EIC 画像は梗塞・出血疑いのオーダー時・低吸収域があるときに作成している。

EIC 画像があると医師に異常所見の報告を行いやすいが使用して異常所見の報告を行ったことがないという回答が大半であった。

EIC 画像はあったほうがよいというのが全員の回答であった。

EIC 画像の作成率は取り組み始めて 2 年後には約 20% 増えた。

【考察】

取り組み当初より EIC 画像を作成して提出することが増えている。

技師が画像を観察する際も補足的に頼りにしている面があるのではないかと!?それが異常所見の報告をしやすくなったという意識の結果に表れていると思われる。専門外の医師が評価する場合が多い当院では、EIC 画像を活用して所見の報告ができれば作成・評価した意義が増すのではないかと考える。

【まとめ】

EIC 画像を作成して通常ウィンドウ条件の画像と比較評価することは所見を拾い上げるための一助を担っていると考えられる。活用して情報提供の幅を広げていきたい。